

令和 2 年度 各分掌等の重点目標及び具体的目標

A:十分満足である B:ほぼ満足できる C:改善が必要である

分掌	重点目標	具体的取組事項	評価指標(到達したい状況・状態)	評価基準			達成値	反省及び次年度への課題等
総務部	防災教育の推進	防災意識の高揚を目指し、火災や地震など実際に即した避難訓練を実施する。	実際に即した避難訓練だったと答えた生徒・教職員の割合	A 90%	B 80%	C 80%未満	A	1学期の避難訓練が実施できなかったが、2学期は消火訓練も実施することができた。2学期の訓練は気候の良い温かい時期に実施するようにしたい。1・3学期は講評で事例を紹介するなど工夫した訓練を実施したい。
	広報活動の充実	学校通信・学校新聞内容の充実、メール発信とホームページの更新を積極的に推進し、閲覧数の上昇を目指す。	学校通信・学校新聞の発行、メール配信、ホームページの更新が充分に行われたと答えた保護者・教職員の割合	A 95%	B 90%	C 90%未満	C	昨年度よりもホームページの更新等を積極的に行ったが、保護者の割合が低い結果となった。学校通信や学校新聞の発行も例年通りであったが、学校通信の内容の変更やホームページの更新等を行っていききたい。
教務部	授業力の向上と基礎学力の育成	「翔陽スタンダード」の定着をより一層図ることで、全教職員の授業改善を目指す。	生徒による「授業アンケート」の項目「授業内容について」の平均点。	A 3.5点以上	B 3.0点以上	C 3.0点未満	B 3.45点	今年度もまた、学校全体の「翔陽スタンダード」を徹底させる雰囲気、下がっているかもしれない。次年度に向け改善策を検討したい。
	生徒募集の推進	中高連絡会、進路説明会、1日体験入学の充実	入学して実際にやってみたい、関心が強くなったと答えた中学生の割合。	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	B 91%	今年度は、2回目のみで91%と高い評価であった。しかし、出願状況は全科で定員を割れてしまった。次年度は、改善点を見つけ生徒募集の充実を図りたい。
生徒指導部	校内外で積極的に挨拶をさせる	生徒会、風紀委員会、教職員を中心に、日頃から積極的に挨拶を交わす。PTAと協力し、各学期にあいさつ運動を行う。	日頃から学校内・外で、挨拶ができていると答えた生徒の割合と積極的に挨拶をしたと答えた教職員の割合	A 97%以上	B 95%以上	C 93%未満	A 97.5%	今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から1度しかあいさつ運動はできなかったが、翔陽高校の良い部分である積極的にあいさつをするというのは引き続きできていると感じている。後は立ち止まって、目を見て等レベルをあげていきたい。
	社会に出ても通用する頭髪服装で学校生活を過ごす	定期的に頭髪・服装検査を実施し、事後指導を徹底する。全教職員で日常的に指導を行う。	頭髪・服装規定を守っていると答えた生徒・保護者と、日頃の指導ができたと答えた教員の割合 頭髪服装検査で再検査にならなかった生徒の割合	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	A 90.6%	今年度から頭髪について時代に合わせて規定を変えたこともあり昨年よりも高い数値となった。きちんとした頭髪・服装で学校生活を過ごす生徒の割合は年々増加しており良い傾向だと言える。
進路指導部	進路保障	求人情報・進学情報を迅速にクラスに伝達する。	進路情報が迅速に伝わったという教員・生徒の割合	A 90%	B 80%	C 80%未満	教員A 生徒B	教員100%、生徒89.7% 教員の共通フォルダに、求人情報・指定校情報および合否情報を迅速にアップすることができた。
		生徒が希望する受験先の確保	希望する会社・学校を受験することが出来たという三年生の割合	A 100%	B 90%	C 90%未満	3年生A	3年生94.9% 求人情報、指定校情報、入試方法など担任と連携して、情報提供ができた。コロナ禍であるが、従来来ている求人票はいただくことができた。

保健相談部	健康教育の推進	講演会の実施や保健通信を通じて、保健情報や健康情報を発信する。	保健・教育相談に関して、実態に即した情報が発信されている、学校は保健便りなどで感染症、健康診断、SC来校案内などの保健情報を提供していると答えた教職員・生徒の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A	教職員100%生徒93.7% 今後も実態に即した情報発信に努めていきたい。
	清掃活動の徹底	生徒保健委員会からの呼びかけもふまえ、時間いっぱい清掃することを徹底する。	掃除監督として時間いっぱい清掃指導を行っている、掃除時間を守って掃除していると答えた教職員・生徒の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A	教職員94.9%生徒96.5% 今年度は生徒保健委員会からの呼びかけがコロナばかりになってしまった。今後は清掃についての呼びかけも行っていきたい。
	相談活動の充実	校内での情報共有に努め、必要に応じて保護者・外部機関との連携をはかり、相談体制や支援体制を充実させる。	保健・教育相談に関して、実態に即した情報が発信されている、生徒の心や体の悩みについて応じてくれている、と答えた教職員・保護者の割合。	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	B	教職員100%保護者80.2% 情報共有の場を設けてきたが、支援が必要な生徒数も多く、また、支援の幅も広いため十分に対応できたとは言えない。CO会は定期的に行い、情報を共有した。
図書研修部	図書館の利用促進	図書館利用の促進のために、利用しやすい図書館を整備し、広報活動を充実させる。	図書館利用促進のための取り組みを行っている、と答えた生徒・教職員の割合	A 85%以上	B 80%以上	C 80%未満	A 教100.0% 生86.4%	図書館の整備をすすめ、新しい本、必要な本を届けることはできたが、生徒へのPRが不足していた。今後の課題は、新刊案内をはじめ、生徒に対する広報活動をさらに充実させたい。
	人権・同和教育HRの推進	生徒の成長段階やクラスの特徴に応じた指導案作成と研究授業を推進する。	学校は人権について考える機会を提供していると答えた生徒・教職員の割合	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	A 教97.4% 生96.4%	LHRは、生徒の現状に即した内容を取り上げたことや人権ファイルを生徒に持たせる等、新しい試みを実践できた。コロナウイルス等の関係で、予定されていた研修等が中止となり、案内ができなかった。今後は、校内外の
寮務部	規律ある寮生活を確立する。 1. 時間を守る 2. 整理・整頓をする	寮の生活時程に従って行動する中で清掃および片付けを丁寧にするように指導する。	寮生活において時間を守り、整理・整頓ができたと答えた生徒、およびその指導ができたと答えた教員の割合。	A 95%	B 90%	C 90%未満	91.8% B	概ね達成できていると生徒・教員ともに感じている。しかしながら、整理整頓の面では、自分ではできていないと感じている生徒もあり、生活時間の中に整理整頓の時間を作る必要性も感じる。
事務部	生徒が安全・安心な環境で教育が受けられる環境整備	学校の施設設備等について、保守整備を図り、安全・安心な教育環境を提供する	学校の施設設備等について、保守整備が図られ、安全・安心な教育環境の中で授業が行われていると考える生徒・保護者の割合	A 80%以上	B 70%以上	C 70%未満	A	体育館長寿命化工事やトイレ洋式化工事等、大規模な改修工事により施設整備を進めることができた。一方、老朽化した施設も多く今後の課題である。
農場部	魅力ある農業教育の推進	地域連携・貢献事業、校内連携活動を推進する。	実施回数30回	A 30回以上	B 25回以上	C 20回以上	68回以上	農業機械等大事業に関わる打合せ、講習10回 地域連携課題研究30回、コンソーシアム20回以上 出前授業1 農業クラブふれあい事業7回
	生徒の進路意識の向上	郷土を愛し、地域を支える生徒の育成 資格取得の向上	地元就職率60%以上(A)、50%以上(B)、50%未満(C) A科及びG科食品系列生徒の今年度の資格取得数が、2つ以上取得した生徒が60%以上(A)、50%以上(B)、50%未満(C)	A 60%以上	B 50%以上	C 50%未満	A 64.3% C 43.8%	A科は就職希望者14名の内9名が地元企業に就職した。 G1:100%、G2:0%、G3:67.0% A1:20%、A2:23.1%、A3:52.7%

電子機械科	工業人として求められる人格形成を支援する	整理・整頓・清潔・清掃を意識し、安全で効率的な作業を実行できるとともに提出物の期限を守る生徒を育てる	①実習棟や教室等の状況及び整理・整頓・清潔・清掃に関するアンケート結果	A 85%以上	B 75%以上	C 75%未満	A 89.4%	実習や課題研究後の実習棟の片付け等は大体できているが、自分の靴やスリッパなどの管理やロッカーの整理整頓ができていない生徒もいる。今後も意識を高めていけるように継続的に指導していきたい。
			②期限内にレポート提出した生徒の割合	A 85%以上	B 75%以上	C 75%未満	A 86.3%	
	学習意欲の向上	専門科目において基礎的な知識と技能の定着を図るとともに、資格取得に積極的に挑戦させ、多くの成果・成功を体験させ、学習意欲を向上させる。	資格検定の合格率および授業態度に関するアンケート結果	A 85%以上	B 75%以上	C 75%未満	C 61.5%	今年度は資格検定試験が中止になったりと難しい一年であった。放課後補習では部活動との兼ね合いもあるが、積極的に挑戦する生徒が増え、合格率も高まる状況を作りたい。授業態度は継続的な指導が必要で
電気科	工業人としての心構えの育成	授業準備、服装、頭髪及びレポート等の提出期限を徹底する。	服装頭髪検査で規定が守れている生徒の割合	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	A 94.4%	おおむね良好である。2年生については少し乱れが見られるので生徒指導部とのさらなる連携を行い、指導を行う。日頃の指導を徹底する。
			期限内にレポート提出した生徒の割合	A 90%以上	B 85%以上	C 85%未満	B 87.1%	
	進路意識の向上	将来を見据え、生徒が主体的に資格や学習に取り組むことができるように補習を実施する	資格、検定に向けて真剣に取り組んだ生徒の割合	A 85%以上	B 75%以上	C 74%未満	A 86.7%	第2種電気工事士の試験がコロナ渦の影響で下期の試験となり、補習も過密なスケジュールとなり、部活動の練習に影響を与えた。結果は、合格率は少し下がったが、資格取得に頑張っているという満足度は大幅に
生物環境工学科	基礎学力の向上	個々の進路の実現のため、資格取得をはじめとする学習指導を充実する。	資格取得のための指導や個別指導、試験前の居残り学習や補習を行ったと答えた生徒の割合。	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	C 76%	今年度はコロナ感染拡大防止処置として検定が実施されなかったものもあり、生徒の評価が低かった。
	基本的な生活習慣を身に付ける	挨拶や正しい言葉遣いができ、服装規定を守れるように指導する	校外外で挨拶をしている、服装規定を守っている、正しい言葉遣いをしていると答えた生徒の割合。	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未満	A 93%	生徒の評価は93%と高いが、頭髪、服装に関しては定着しない生徒も見られる。
総合学科	自立して社会貢献できる生徒の育成	集団や社会の一員として、モラルある言動や身だしなみがきちんとでき、挨拶や言葉遣いがしっかりできる。	正しい日常の服装・頭髪の基準が守られていたと答えた生徒の割合。	A 95%以上	B 90%以上	C 90%未満	A 97.3%	生徒は概ねできているとしているが、継続して指導が必要である。
	学力向上に努力する生徒の育成	生徒個々の能力、資質を十分に発揮させるとともに、これらを進路選択、人生設計に関連づけることができる態度を育成する。	資格、検定に2つ以上取得したと答えた生徒の割合。	A 80%以上	B 75%以上	C 75%未満	A 84.8%	1年:2個未満0人、2個以上40人(MAX:7個) 2年:2個未満6人、2個以上34人(MAX:9個) 3年:2個未満11人、2個以上21人(MAX:7個) 95/112*100=84.8%(R1:79.5%) 昨年度を上回ることもでき、目標を達成することができた。3年生での資格取得の指導が課題。

1 年 学 年 会	基本的な生活習慣を育成する。 1. 時間を守る 2. 挨拶・返事・言葉遣い 3. 服装・頭髪	朝終礼や各授業の始業チャイムは、自席で着席して聞かせる。	始業チャイムを自席で着席して聞くことができた と答えた生徒および聞かせることができた と答えた教職員の割合	A 95% 以上	B 85% 以上	C 85% 未 満	B 87.1%	教員が余裕を持って教室に行くことで、チャイムを守らせる雰囲気はできていた。一部の生徒は、朝礼前に廊下において、教員が来ても教室に入ろうとしないことがあり指導した。チャイムだけでなく、教員の指導で速やかに授業体制になれる生徒でなければいけないと思っ
		挨拶・返事・言葉遣いがしっかりできる よう指導する。	校舎内・外において、挨拶・返事・言葉遣いが しっかりとできた と答えた生徒および、できてい たと答えた教職員・保護者の割合。	A 95% 以上	B 85% 以上	C 85% 未 満	B 87.1%	多くの生徒はすれ違うときに挨拶をしてくれる が、自分からはなかなかできない生徒もい る。いつでも挨拶ができることは生徒の社会 性向上につながるため、今後も積極的に教 員から声がけを行っていく。すれ違うときの 挨拶などが当然の雰囲気を作っていきたい。
		日常の服装・頭髪の基準を守るよう 指導する。	日常の服装・頭髪の基準が守られていたと答 えた教職員の割合	A 95% 以上	B 85% 以上	C 85% 未 満	A	ほとんどの生徒は大きな問題なく学校規定に 沿った服装・頭髪で過ごしている。ボタンが していない、リボンがないなどの違反は時々見 受けられるが、大きな乱れはない。今後も維 持・向上できるように指導していきたい。
2 年 学 年 会	基本的な生活習慣を育成し、社 会人としての姿勢を身につけさ せる。 1. 服装・頭髪・挨拶・返事・言 葉遣い。 2. 時間を守る。	日頃の服装・頭髪の基準を守り、接 拶や言葉遣いができるように指導す る。	日頃の服装・頭髪の基準が守られており、接 拶・返事・言葉遣いがしっかりとできていると答 えた教職員・保護者の割合。	A 90% 以上	B 80% 以上	C 80% 未 満	A	95%を超えた結果となったが、夏場は暑さ からボタンを外す生徒がおり、冬場はマスク 着用ができない生徒もおり、引き続き指導の 必要性を感じている。
		始業チャイムは、自席で着席して聞 かせ、5分前行動を意識させる。	チャイム前の行動がとれていると答えた生徒の 割合。	A 90% 以上	B 80% 以上	C 80% 未 満	A	97%を超えた結果となっているが、特に朝 礼時の遅刻が目立った。あと1分早く行動す ることや、準備することで防げることなので、 今後も引き続き指導の必要性を感じている。
3 年 学 年 部	進路目標実現のために、社会 人としての資質を身につける。 1. 時間を守る。 2. 服装・頭髪・挨拶・返事・正 しい言葉遣いに留意し、社会の ルールを遵守できる。	朝礼、授業開始時間や授業関係・進 路関係の提出物の期限を守るよう指 導する。	朝礼、授業開始時間が守られている。かつ、提 出物の期限が守られていると判断した教職員 割合と授業の開始時間が守られ、かつ提出物 の期限を守っていると答えた生徒の割合	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未 満	A (平均値) 教職員 95.9%A 生徒 91.3%A	平均ではこの数字だが、提出物に関しては 生徒評価がB(87.8%)であった。大多数の 生徒はしっかりやっていたが、一部生徒が恒 常的に守れなかったように感じる。この点に 関して学年、学校全体として指導をすべき だったと反省している。
		日常の服装・頭髪の基準を守り、接 拶や言葉遣いがしっかりできるよう指 導する。	日常の服装・頭髪の基準が守られており、接 拶・返事・言葉遣いがしっかりとできていると答 えた教職員・保護者の割合。	A 90%以上	B 80%以上	C 80%未 満	A (平均値) 教職員 89.5%B 保護者 95.7%A	大多数の生徒はしっかりやっており、保護者 の評価は高いが、一方で教職員側の指導に 対する自己評価はB(89.5%)であり、礼節 についての継続的指導を学年、学校全体と して徹底すべきであると感じている。今後の課 題としたい。